

ランニングコストが従来比で約30%低減 音楽家の創作活動にフィットする機能性

導入製品 PX-1700F

マルチで高性能、そしてコンパクト。
2段フロントカセットのA3ノビ対応ファクス複合機。



| 印刷スピード | | ランニングコスト | | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------|--------------------------|---------------------------------|---------|----------|-----------|
| A4カラー ※ 約8.0ipm (最速:約34枚/分) | A4モノクロ ※ 約15ipm (最速:約34枚/分) | A4カラー ※ 約7.3円 | A4モノクロ ※ 約2.5円 | | | | |
| プリンター | 印刷サイズ | 両面対応 | 給紙方法 | 給紙枚数 | 耐久枚数 | インク | |
| | A3ノビ | 標準 | フロントカセット | フロントカセット 最大500枚 (250枚×2段) | 6万ページ | 全色 顔料 | |
| コピー | 最大コピーサイズ | コピー倍率 | 自動両面 コピー (A4サイズのみ) | スキャナー | 最大原稿サイズ | 解像度 | ADF |
| | A3 | 25%~ 400% | | | A3 | 1200dpi | 最大 30枚 |
| ファクス | SUPER G3・ カラーファクス 対応 | 短縮ダイヤル件数 | PCファクス | | | | |
| | | 最大 60件 | 送受信 | | | | |

※印刷速度・ランニングコスト測定条件詳細については、エプソンホームページをご覧ください。

アトリエ ソラ 様

多才な音楽家 林秀茂氏の創作活動の拠点

ジャンルを問わない音楽の作曲・編曲、有名歌手の専属バンド、劇団の音楽プロデューサー、音楽大学での講師、芸能人のボーカルトレーナー、挙げ出すときりがかないほどのマルチな音楽活動に従事する音楽家 林 秀茂 氏が運営する音楽スタジオ。プロフェッショナルな楽曲活動に留まらず、老若男女誰でも参加できる『なつかしの歌声館』というサークルも当スタジオで運営しています。様々な音楽活動の中においても、音楽に触れる人々の自然で率直な親しみを一番に大切にされているスタジオです。



所在地 大阪市北区西天満5-11-4

従業員数 2名

業種 音楽スタジオ

主要業務とプリント

主要業務

- ・音楽の作曲、編曲
- ・音楽の演奏
- ・歌手、イベントのプロモート
- ・音楽のレッスン(受講者指導)

主な印刷物

- ・楽譜
- ・舞台台本、進行表
- ・舞台セッティング図
- ・チラシ、DM

印刷ボリューム/月

A4: 約400枚
A3: 約200枚
その他サイズ: 約200枚

カラー:モノクロ比率

カラー : 50%
モノクロ: 50%

PX-1700F 導入後のランニングコスト低減効果

導入前



ページプリンタを2台使用。
ランニングコストは、
約¥7,000/月

導入後



PX-1700Fをメインで使用。
ランニングコストは、
約¥5,000/月

約30%の
コスト低減を実現!
(¥2,000/月の低減)

CASE STUDY

ビジネスインクジェットプリンター

導入事例

アトリエ ソラ 様

EPSON
EXCEED YOUR VISION

導入後の状況・ご感想

低ランニングコストと高機能性。
うちのようなスタジオにぴったりの1台。



音楽家
林 秀茂 氏



何といてもPX-1700F導入後はランニングコストが抑えられましたね。従来は2台のページプリンタを使用していたのですが、PX-1700Fを導入してからは、ほとんどこちらをメインで使用するようになっています。結果、消耗品コストが確実に少なくなっていることを実感しています。導入してから約10ヶ月が経過していますが、ざっくりと見積もってみても、導入前に比べ、月あたり¥2,000は印刷コストが抑えられていますね。主要業務は作曲・編曲活動ですので、最も印刷頻度が多いのは楽譜の印刷です。ポップス系の楽譜はA4サイズが主流なので、A4用紙にそのまま印刷するか、A3用紙に2面割付で印刷していますが、PX-1700Fは2段カセットを標準装備しており、A4



用紙とA3用紙を常時セットしておける点も重宝しています。また、クライアント様によっては、制作・音楽プロダクショナルな立ち回りが必要とされることもあり、PX-1700FでPOPやチラシを制作することもありますね。あとは、スキャン機能もよく使いますね。現在は、Finaleというアプリケーションを使用して作曲していますが、過去に手書きで作った譜面が約1万枚倉庫のシェルフに眠っています。過去に制作した譜面を参考にして現在の作曲にアレンジを加えたり、インスパイアされることもありますので、スキャンして手軽に電子譜面として取り込めるのは非常に便利です。PX-1700Fを使うようになってからは、仕事が非常にはかどるようになり、大変助かっています。



PX-1700Fのお気に入りポイント

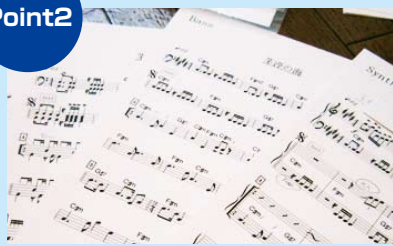
Point1



多段カセット装備

フロント2段カセットを装備し、最大500枚の大容量給紙に対応。最もよく使う、A3用紙とA4用紙を常時同時にセットしておく点が非常に便利です。

Point2



高濃度の顔料ブラック

ステージでは、照明の光の跳ね返りで黒濃度が弱い楽譜は見えにくくなるのですが、PX-1700Fは黒のシマリがよく、光の跳ね返りもなく奏者にも好評です。

Point3



ADFでの連続スキャン

過去に制作した手書きの楽譜を現在の楽曲の参考にしたケースにスキャンして活用しています。過去に蓄積したアナログ資産を、現在のデジタル環境に簡単に取り込めるので、制作もはかどります。

製品に関するお問い合わせ・資料請求は下記まで

エプソンインフォメーションセンター

☎ 050-3155-8100

受付時間 9:00~17:30 月~金曜日(祝日・弊社指定休日を除く)

左記電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用してあります。
左記番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTT東日本、NTT西日本の
固定電話(一般回線)からおかけいただくか、042-585-8444までおかけ直してください。

エプソン販売株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

<http://www.epson.jp>